

(12) 特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関  
国際事務局

(43) 国際公開日  
2022年12月1日(01.12.2022)



(10) 国際公開番号

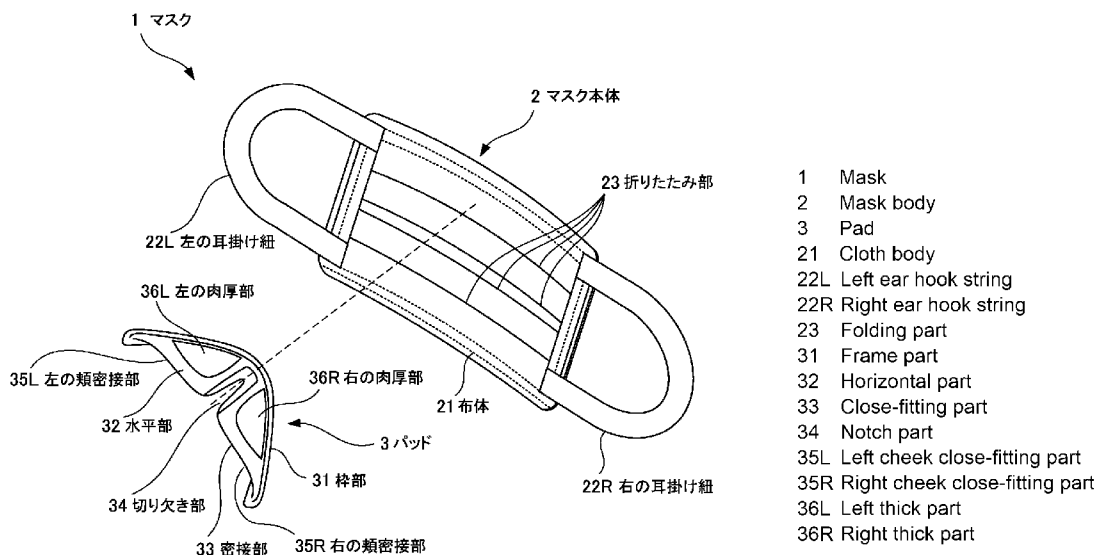
WO 2022/249219 A1

- (51) 国際特許分類:  
A41D 13/11 (2006.01)
- (21) 国際出願番号: PCT/JP2021/019510
- (22) 国際出願日: 2021年5月24日(24.05.2021)
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (72) 発明者; および
- (71) 出願人: 吉田 武郎 (YOSHIDA Takerou) [JP/JP]; 〒2920804 千葉県木更津市文京 1-4-5 Chiba (JP).
- (74) 代理人: 植村 貴昭 (UEMURA Takaaki); 〒3300802 埼玉県さいたま市大宮区宮町 3-3-6-1 ガルボ大宮宮町 402号 Saitama (JP).
- (81) 指定国(表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能): AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BN, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DJ, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IR, IS, IT, JO, JP, KE, KG, KH, KN, KP, KR, KW, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PA, PE, PG, PH, PL, PT, QA, RO, RS, RU, RW, SA, SC, SD, SE, SG, SK, SL, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, WS, ZA, ZM, ZW.
- (84) 指定国(表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, RW, SD, SL, ST, SZ, TZ, UG, ZM,

(54) Title: MASK AND PAD

(54) 発明の名称: マスク及びパッド

【図 1】



(57) Abstract: [Problem] To provide a mask and a pad with which user convenience can be improved. [Solution] This mask 1 comprises: a mask body 2 to which left and right ear hook strings 22L and 22R are attached to the left and right, respectively, of a cloth body 21 made of an air permeable material; and a pad 3 that is formed of a soft resin to match the shapes of the nose and cheeks of a user, and that can be attached to the rear surface of the cloth body 21 of the mask body 2. The mask 1 also includes a surface fastener 4 adhered to an edge on the side where the pad 3 is attached to the

ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, KM, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

添付公開書類：

一 国際調査報告 (条約第21条(3))

cloth body 21 with a hook surface of the surface fastener 4 facing outwardly. A notch section into which the nose 52 of the user 5 is inserted is formed in the pad 3, and an edge of the notch section 34 is formed to be curved toward the upper side of the nose 52.

(57) 要約：【課題】利用者の利便性を向上できるマスク及びパッドを提供する。【解決手段】マスク1は、通気性素材による布体21の左右にそれぞれ左右の耳掛け紐22L、22Rを取り付けたマスク本体2と、軟質樹脂により利用者の鼻及び頬の形状に合わせて形成され、前記マスク本体2の前記布体21の裏面に取り付け可能なパッド3とを備える。また、マスク1は、前記パッド3の前記布体21に取り付ける側の縁に、面ファスナ4のフック面を外側に向けて当該面ファスナを貼り付けている。前記パッド3には、前記利用者5の鼻52が挿入される切欠き部が形成され、当該切欠き部34の縁は、前記鼻52の上方に向けて湾曲して形成されている。

## 明 細 書

発明の名称：マスク及びパッド

### 技術分野

[0001] 本発明は、息の漏れを防止することができるマスク及びパッドに関する。

### 背景技術

[0002] (背景技術)

従来のマスクはガーゼ布や不織布を紐やゴム紐などで顔に固定する方法で使用されている。このようなマスクは、紐で引っ張る事により固定できるが、引っ張る力で鼻の脇に空間ができて、外気の吸引や息の漏れが生じ、眼鏡を曇らせたりする等の問題を生じていた。

[0003] このような問題に対応して、特許文献1には、鼻形状に合わせた固定具入りマスクにおいて、マスク紐の上部の末端の支点部分にはゴム紐が通る穴を空け、当該穴にゴム紐を通過させて鼻の頂点および峯の固定具のところに引っ張り力を与えることで、固定具にかかった引っ張り力が鼻とマスクの密着力に変わり漏れと外気吸引の低減が長時間維持される技術が記載されている。

### 先行技術文献

#### 特許文献

[0004] 特許文献1：特開2020-128617号公報

### 発明の概要

#### 発明が解決しようとする課題

[0005] しかしながら、特許文献1に記載の鼻形状に合わせた固定具入りマスクでは、利用者の鼻及び頬の形状に個人差があるため、固定具を鼻及び頬の形状に合わず、外気の吸引や息の漏れの防止が十分でなかったり、マスクを装着した利用者に違和感を与えたりする等の問題があった。

本発明は、利用者の利便性を向上できるマスク及びパッドの提供を目的とする。

## 課題を解決するための手段

- [0006] 本発明の第1の観点におけるマスクは、軟質樹脂により利用者の鼻及び頬の形状に合わせて形成され、マスク本体の布体の裏面に取り付け可能なパッドを備える。
- [0007] 好適には、マスクは、通気性素材による布体の左右にそれぞれ左右のマスク紐を取り付けたマスク本体と、軟質合成樹脂により利用者の鼻及び頬の形状に合わせて形成され、前記マスク本体の前記布体の裏面に取り付け可能なパッドとを備えることを特徴とする。
- [0008] また、マスクは、前記パッドの前記布体に取り付ける側の縁に、面ファスナのフック面を外側に向けて当該面ファスナを貼り付けている。
- [0009] 前記パッドには、前記利用者の鼻が挿入される切欠き部が形成され、当該切欠き部の縁は、前記鼻の上方に向けて湾曲して形成されている。
- [0010] 本発明の請求項3に記載のパッドは、通気性素材による布体の左右にそれぞれ左右の耳掛け紐を取り付けたマスク本体に取り付けられるパッドであって、軟質樹脂により利用者の鼻及び頬の形状に合わせて形成され、前記マスク本体の前記布体の裏面に取り付け可能であることを特徴とする。

## 発明の効果

- [0011] 本発明におけるマスクによって、利用者の利便性を向上することが可能となった。

## 図面の簡単な説明

- [0012] [図1]本発明の実施形態に係るマスクを示す分解斜視図である。  
[図2]本発明の実施形態に係るマスクのパッドを詳細に示す説明図である。  
[図3]本発明の実施形態に係るマスクの使用方法を示す説明図である。

## 発明を実施するための形態

- [0013] <実施形態>  
図1は、本発明の実施形態に係るマスクを示す分解斜視図である。
- [0014] 図2は、本発明の実施形態に係るマスクのパッドを詳細に示す説明図であ

り、図2 (a) はパッドの下側から見た斜視図、図2 (b) はパッドを上側から見た平面図、図2 (c) は図2 (b) のA-A線断面図である。

図3は、本発明の実施形態に係るマスクの使用方法を示す説明図である。

[0015] <マスクの構成>

図1において、本発明の実施形態に係るマスク1は、ガーゼ等の通気性素材による布体21の左右にそれぞれ左右の耳掛け紐22L、22Rを取り付けたマスク本体2と、シリコンゴム等の軟質合成樹脂により利用者の鼻及び頬の形状に合わせて形成され、前記マスク本体2の前記布体21の裏面に取り付け可能なパッド3とから構成される。

[0016] マスク本体2の布体21は、通気性素材（例えばガーゼ）を横長の長方形に形成したものである。布体21には、複数の折りたたみ部23があり、使用時はこの折りたたみ部23が伸びて利用者の顔面から顎にかけてマスクで覆うことができる。

[0017] 左右の耳掛け紐22L、22Rは、伸縮可能なゴム布をD字状に形成したものである。左の耳掛け紐22Lの直線部は、布体21の左側辺近傍に縫い付けられている。右の耳掛け紐22Rの直線部は、布体21の右側辺近傍に縫い付けられている。

[0018] 図2 (a) において、パッド3は、前記パッド3の前記布体21に取り付ける側の縁が山形に湾曲して形成されて枠部31となっている。枠部31は、パッド3の水平部32に対して上下に延出している。枠部31の外側面には、マジックテープと呼ばれる面ファスナ4のフック面41を外側に向けて当該面ファスナ4を貼り付けている。

[0019] 図2 (b) において、パッド3は、枠部31の反対側の縁が利用者の鼻及び頬に密接する密接部33となっている。

[0020] 前記パッド3の密接部33には、前記利用者の鼻が挿入される切欠き部34が形成され、当該切欠き部34の縁35は、図2 (c) に示すように、前記鼻の上方に向けて湾曲して形成されている。

[0021] 図2 (b) において、左右密接部33における切欠き部34の左右には、

頬密接部 35 L、35 R が形成されている。頬密接部 35 L、35 R は、利用者の左右の頬の形状に近似して、利用者の左右の頬に密接する曲線で生成されている。

[0022] 前記パッド 3 の水平部 32 の上面には、剛性を高めるための左右の肉厚部 36 L、36 R が形成されている。

[0023] 左の肉厚部 36 L は、水平部 32 の左側を縮小した形状に形成され、外側が枠部 31 の左側と連続している。

[0024] 右の肉厚部 36 R は、水平部 32 の右側を縮小した形状に形成され、外側が枠部 31 の右側と連続している。

[0025] <マスクの使用方法>

マスク 1 は、マスク本体 2 とパッド 3 が別体の状態で包装袋に袋詰めされた状態で販売させる。

[0026] 利用者は、マスク 1 を使用する場合、包装袋からマスク本体 2 とパッド 3 を取り出し、パッド 3 の面ファスナ 4 のフック面 41 をマスク本体 2 の布体 21 の裏面上部を押し当てる。これにより、フック面 41 のフックが布体 21 の繊維に係止し、マスク本体 2 の裏面上部にパッド 3 が取り付けられ、マスク 1 が完成する。マスク 1 が完成した状態では、パッド 3 の水平部 32 が、布体 21 の布面に対して略垂直となる。

[0027] 図 3 に示すように、利用者 5 は、パッド 3 の端と端を持って、扇を開くように広げ、パッド 3 の切欠き部 34 に顔面 51 の鼻 52 の上部を挿入し、前記パッド 3 の左右の頬密接部 35 L、35 R を左右の頬 53 L、53 R に密接させる。この後、鼻 52 の下部と口 54 を布体 21 で覆い、左右の耳 55（右耳のみ図示）に、左右の耳掛け紐 22 L、22 R を掛ける。

[0028] これにより、利用者 5 は、マスク 1 を装着した状態となる。この状態では、マスク 1 と利用者 5 の鼻の脇にできる隙間が前記パッド 3 により閉塞され、外気の吸引や息の漏れの防止できる。

[0029] また、パッド 3 の端と端を持って、扇を開くように広げると、軟質合成樹脂の弾性力によって扇が元のところまで閉じようとする力が発生する。これ

により、切欠き部34の縁35において、鼻52に負担のない微力ではあるが、鼻52をはさむ(つまむ)固定力が働く。そして、切欠き部34の縁35の上方に湾曲する部分も弾性力が働き、密閉性を発揮する。従って、鼻52を挟んで固定と目尻を塞ぐ目的の弾性力が使われている。

[0030] パッド3は、軟質樹脂により利用者の鼻及び頬の形状に合わせて形成されて、鼻が挿入される切欠き部34の縁は、前記鼻の上方に向けて湾曲して形成されているので、マスクを装着した利用者5に違和感を与えるのを防止できる。

[0031] <実施形態の構成及び効果>

このような実施形態の構成及び効果を纏めて説明すると、マスク1は、通気性素材による布体21の左右にそれぞれ左右の耳掛け紐22L、22Rを取り付けたマスク本体2と、軟質樹脂(軟質合成樹脂)により利用者の鼻及び頬の形状に合わせて形成され、前記マスク本体2の前記布体21の裏面に取り付け可能なパッド3とを備える。

[0032] また、マスク1は、前記パッド3の前記布体21に取り付ける側の縁(枠部31)に、面ファスナ4のフック面を外側に向けて当該面ファスナを貼り付けている。

[0033] 前記パッド3には、前記利用者5の鼻52が挿入される切欠き部が形成され、当該切欠き部34の縁は、前記鼻52の上方に向けて湾曲して形成されている。

[0034] パッド3は、通気性素材による布体21の左右にそれぞれ左右の耳掛け紐22L、22Rを取り付けたマスク本体2に取り付けられるパッドであって、軟質樹脂(軟質合成樹脂)により利用者の鼻及び頬の形状に合わせて形成され、前記マスク本体2の前記布体21の裏面に取り付け可能である。

[0035] このような構成を有することから、本実施形態のマスク1は、利用者の鼻及び頬の形状に個人差が場合にも、鼻及び頬の形状に合わせて形成された軟質樹脂のパッド3により外気の吸引や息の漏れの防止が十分行えるとともに、マスク1を装着した利用者5に違和感を与えないようにすることができ、利

用者の利便性を向上することが可能となった。

[0036] 尚、図1乃至図3に示した本実施形態では、パッド3を形成する軟質樹脂として、シリコンゴム等の軟質合成樹脂を用いたが、軟質樹脂としては、天然ゴム等の天然の軟質樹脂を用いてもよい。

[0037] また、図1乃至図3に示した本実施形態では、マスク本体2の素材として、ガーゼを用いたが、通気性を有するものであれば、ガーゼ以外の織布、不織布、紙等、各種適用可能である。

[0038] マスク本体2の形状も、図1及び図3に示したものに限らず、各種適用可能である。

さらに、マスク本体2とパッド3をセットで販売するのではなく、パッド3のみを単体で販売することも可能である。

[0039] <実施形態の変形例>

図1乃至図3に示した実施形態の変形例として、パッド3（図2参照）の切欠き部34（図2参照）の縁を、上下方向に湾曲せずに形成することも可能である。

[0040] より詳しく説明すると、本変形例では、水平部32（図2参照）～切欠き部34（図2参照）にかけての上方に湾曲している部分が平坦になっており、利用者5が装着する事で、図3の様に湾曲する。従って、本変形例の平坦からの湾曲の方が、弾性力が増し、顔面51に対する密閉と固定力が向上する。また、鼻52を摘む部分（切欠き部34の縁）も同じく弾性力向上で固定力が増している。

[0041] また枠部31（図2参照）は、パッド3の水平部32に対して上側または下側の一方のみに延出するように形成してもよい。

[0042] 本発明の、構造、材料、各部材の連結、科学物質等は、本発明の要旨を変更しない範囲で、様々に変更可能である。

材質も、繊維、合成樹脂、ゴム、植物を自由に選択することが可能である。

例えば、2つ以上の部材を1つにすることも可能であるし、逆に、1つの

部材を2つ以上の別の部材から構成して接続することも可能である。

[0043] また、上記実施の形態及び変形例は、あくまでも、現在のところの最良の形態またはそれに近い形態の2つにすぎない。

[0044] また、マスク1の装着作業の順序なども、所定の効果を有するのであれば、適宜変更可能である。

[0045] <定義等>

本発明におけるマスク本体は、通気性素材で人間に使用できるものであればどのようなものであってもよい。

本発明におけるパッド3を形成する軟質樹脂の一例が軟質合成樹脂である。つまり、パッド3を形成する軟質樹脂は、天然ゴム、植物等であってもよい。

### 符号の説明

[0046] 1 : マスク 2 : マスク本体 3 :  
 パッド 4 : 面ファスナ 5 : 利用者 2 1  
 : 布体 2 2 L、2 2 R : 左右の耳掛け紐 2 3 : 複折り  
 たたみ部 3 1 : 枠部 3 2 : 水平部 4 1  
 : フック面 3 3 : 密接部 3 4 : 切欠き部 3 5  
 L、3 5 R : 左右の頬密接部 3 6 L、3 6 R : 左右の肉厚部 5 1  
 : 顔面 5 2 : 鼻 5 3 L、5 3 R : 左右の頬 5 4  
 : 口 5 5 : 耳

## 請求の範囲

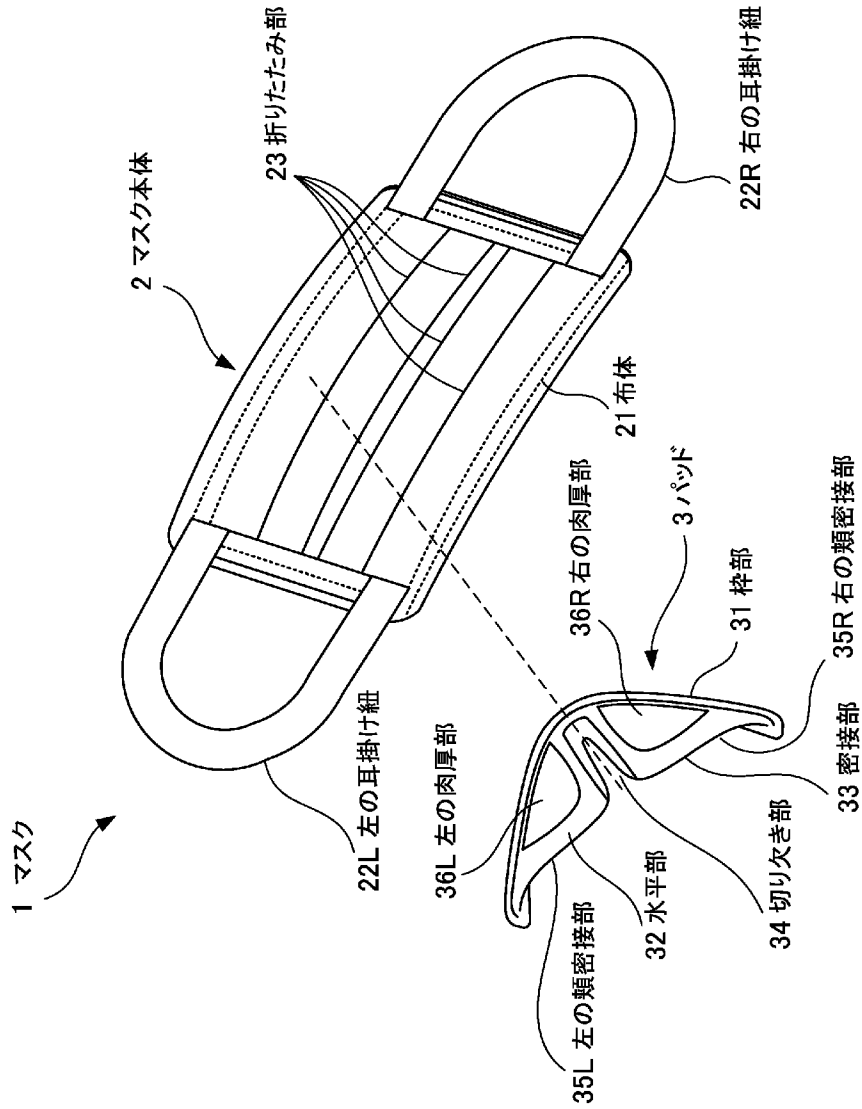
- [請求項1] 通気性素材による布体の左右にそれぞれ左右の耳掛け紐を取り付けたマスク本体と、軟質樹脂により利用者の鼻及び頬の形状に合わせて形成され、前記マスク本体の前記布体の裏面に取り付け可能なパッドと、を備えることを特徴とするマスク。
- [請求項2] 前記パッドの前記布体に取り付ける側の縁に、面ファスナのフック面を外側に向けて当該面ファスナを貼り付けたことを特徴とする請求項1に記載のマスク。
- [請求項3] 通気性素材による布体の左右にそれぞれ左右の耳掛け紐を取り付けたマスク本体に取り付けられるパッドであって、軟質樹脂により利用者の鼻及び頬の形状に合わせて形成され、前記マスク本体の前記布体の裏面に取り付け可能であることを特徴とするパッド。

[図1]

GP212100

1/3

[図 1]

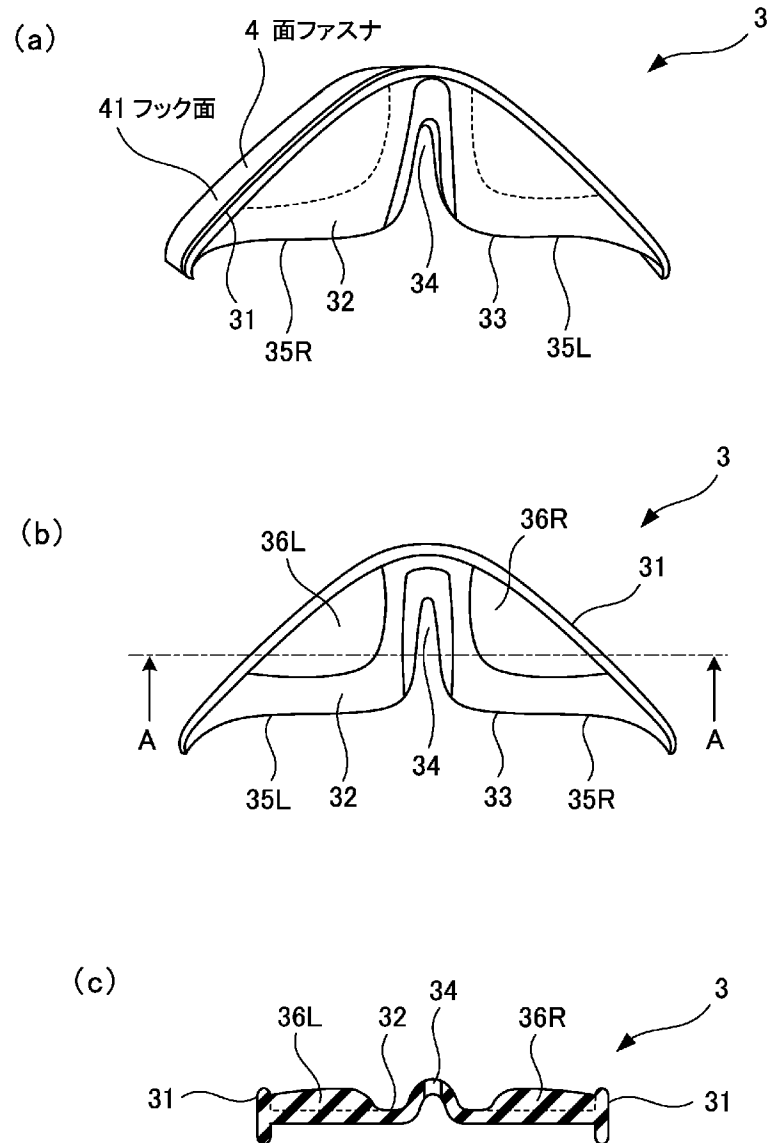


[図2]

GP212100

2/3

【図 2】

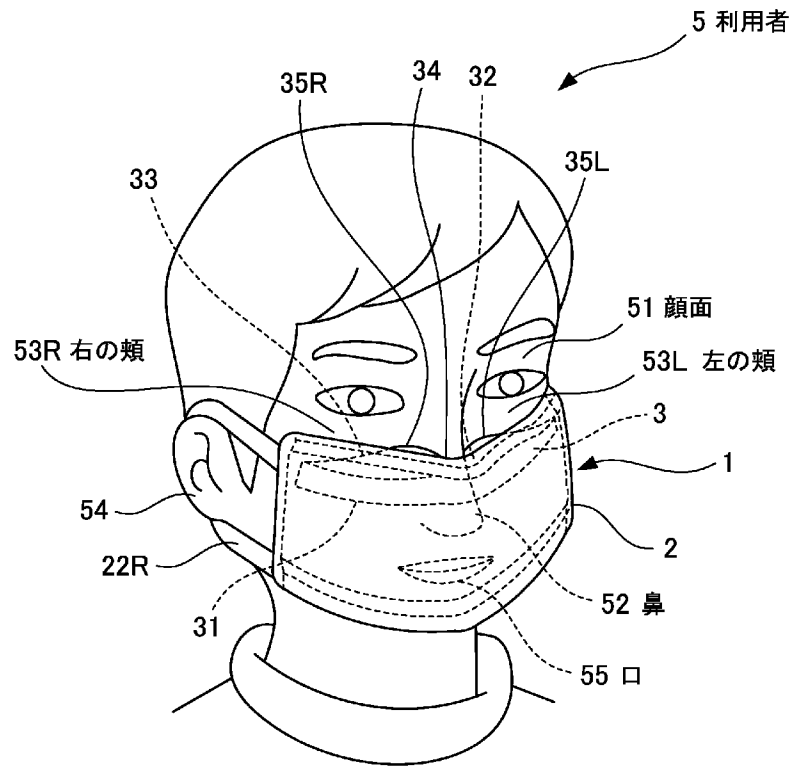


[図3]

GP212100

3/3

【図 3】



**INTERNATIONAL SEARCH REPORT**

International application No.  
PCT/JP2021/019510

**A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER**

**A41D 13/11(2006.01) i**  
**FI: A41D13/11 Z**

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

**B. FIELDS SEARCHED**

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)  
**A41D13/11, A62B18/02**

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Published examined utility model applications of Japan	1922-1996
Published unexamined utility model applications of Japan	1971-2021
Registered utility model specifications of Japan	1996-2021
Published registered utility model applications of Japan	1994-2021

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

**C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT**

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X	JP 3231701 U (BE-PLUS CO., LTD.) 22 April 2021 (2021-04-22) paragraphs [0017]-[0018], [0020], [0023], fig. 1-3	1-3
X	Microfilm of the specification and drawings annexed to the 012415/1972 (Laid-open No. 89594/1973) (OZAWA, Sakiko) 29 October 1973 (1973-10-29) specification, page 2, line 12 to page 3, line 17, page 4, lines 11-15, fig. 1	1-3
A	JP 2013-48898 A (KOBAYASHI, Kazuko) 14 March 2013 (2013-03-14)	1-3
A	JP 2012-85728 A (YOKOI:KK) 10 May 2012 (2012-05-10)	1-3

Further documents are listed in the continuation of Box C.

See patent family annex.

\* Special categories of cited documents:

“A” document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance  
 “E” earlier application or patent but published on or after the international filing date  
 “L” document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)  
 “O” document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means  
 “P” document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

“T” later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention  
 “X” document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone  
 “Y” document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art  
 “&” document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search  
**20 July 2021 (20.07.2021)**

Date of mailing of the international search report  
**03 August 2021 (03.08.2021)**

Name and mailing address of the ISA/  
Japan Patent Office  
3-4-3, Kasumigaseki, Chiyoda-ku,  
Tokyo 100-8915, Japan

Authorized officer  
  
Telephone No.

**INTERNATIONAL SEARCH REPORT**

International application No.

PCT/JP2021/019510

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	JP 3222180 U (SUNNA TECH SHANGHAI CO LTD) 18 July 2019 (2019-07-18)	1-3
A	JP 9-239050 A (NISHIO, Yoshihiro) 16 September 1997 (1997-09-16)	1-3
A	Microfilm of the specification and drawings annexed to the request of Japanese Utility Model Application No. 17548/1986 (Laid-open No. 130655/1987) (EXCEL CORP) 18 August 1987 (1987-08-18)	1-3

**INTERNATIONAL SEARCH REPORT**

Information on patent family members

International application No.

PCT/JP2021/019510

Patent Documents referred in the Report	Publication Date	Patent Family	Publication Date
JP 3231701 U	22 Apr. 2021	(Family: none)	
JP 48-89594 U1	29 Oct. 1973	(Family: none)	
JP 2013-48898 A	14 Mar. 2013	(Family: none)	
JP 2012-85728 A	10 May 2012	(Family: none)	
JP 3222180 U	18 Jul. 2019	CN 208211533 U	
JP 9-239050 A	16 Sep. 1997	(Family: none)	
JP 62-130655 U1	18 Aug. 1987	(Family: none)	

A. 発明の属する分野の分類（国際特許分類（IPC）） A41D 13/11(2006.01)i FI: A41D13/11 Z		
B. 調査を行った分野 調査を行った最小限資料（国際特許分類（IPC）） A41D13/11, A62B18/02 最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの 日本国実用新案公報 1922 - 1996年 日本国公開実用新案公報 1971 - 2021年 日本国実用新案登録公報 1996 - 2021年 日本国登録実用新案公報 1994 - 2021年		
国際調査で使用した電子データベース（データベースの名称、調査に使用した用語）		
C. 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
X	JP 3231701 U (株式会社ビープラス) 22.04.2021 (2021-04-22) 段落 [0017] - [0018]、[0020]、[0023]、図1-3	1-3
X	日本国実用新案登録出願47-012415号(日本国実用新案登録出願公開48-89594号)の願書に添付した明細書及び図面の内容を撮影したマイクロフィルム (小澤 咲子) 29.10.1973 (1973-10-29) 明細書第2頁第12行-第3頁第17行、第4頁第11-15行、第1図	1-3
A	JP 2013-48898 A (小林 一子) 14.03.2013 (2013-03-14)	1-3
A	JP 2012-85728 A (株式会社ヨコイ) 10.05.2012 (2012-05-10)	1-3
A	JP 3222180 U (スナテックテクノロジーズ (シャンハイ) カンパニー リミテッド) 18.07.2019 (2019-07-18)	1-3
A	JP 9-239050 A (西尾 佳広) 16.09.1997 (1997-09-16)	1-3
A	日本国実用新案登録出願61-17548号(日本国実用新案登録出願公開62-130655号)の願書に添付した明細書及び図面の内容を撮影したマイクロフィルム (株式会社エクセル) 18.08.1987 (1987-08-18)	1-3
<input type="checkbox"/> C欄の続きにも文献が列挙されている。 <input checked="" type="checkbox"/> パテントファミリーに関する別紙を参照。		
* 引用文献のカテゴリー	“T” 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と抵触するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの “A” 特に関連のある文献ではなく、一般的な技術水準を示すもの “E” 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの “L” 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献（理由を付す） “O” 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献 “P” 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願の日の後に公表された文献	
国際調査を完了した日	20.07.2021	国際調査報告の発送日 03.08.2021
名称及びあて先 日本国特許庁 (ISA/JP) 〒100-8915 日本国 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	権限のある職員（特許庁審査官）  住永 知毅 3B 1183  電話番号 03-3581-1101 内線 3320	

国際調査報告  
 パテントファミリーに関する情報

国際出願番号

PCT/JP2021/019510

引用文献	公表日	パテントファミリー文献	公表日
JP 3231701 U	22.04.2021	(ファミリーなし)	
JP 48-89594 U1	29.10.1973	(ファミリーなし)	
JP 2013-48898 A	14.03.2013	(ファミリーなし)	
JP 2012-85728 A	10.05.2012	(ファミリーなし)	
JP 3222180 U	18.07.2019	CN 208211533 U	
JP 9-239050 A	16.09.1997	(ファミリーなし)	
JP 62-130655 U1	18.08.1987	(ファミリーなし)	